

HIC 通信

Vol. 94

October 2016

Hiroshima
International
Center



目次

P 2 特集

JETプログラム

P 4 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

研修部（ひろしま国際プラザ）

P 9 コラム

Hello Hiroshima

P 10 JICALレポート

こちらJICAデスク

P 11 イベント・講座案内

Upcoming Event News



平成28年度来日したJET参加者のみなさん



殿賀花田植(安芸太田町)に参加しているALT



韓国理解講座を行っているCIR



親善友好都市にて市長の挨拶を通訳しているCIR

JET プログラム参加者が 広島県内で活躍中です！

みなさんの近所の学校でネイティブの先生や役所で外国人のスタッフを見かけたことはありませんか？ JET プログラムで来日した方が日本と世界の架け橋となって活躍しています。今年も 8 月に来日し、ひろしま国際センター研修部での日本語研修を終え、県内各地で地域活性化に貢献しています。

The Japan Exchange and Teaching Programme

JET プログラムを知っていますか？

JETプログラムは主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることで、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的としています。このプログラムは、1987年にスタートし、今年で30周年を迎えます。参加者は、様々な国際交流、語学教育により、地域の活性化に貢献しています。

【JET Programme の職種】



ALT 外国語指導助手 Assistant Language Teacher
＜小学校・中学校や高等学校で語学指導を行います。＞

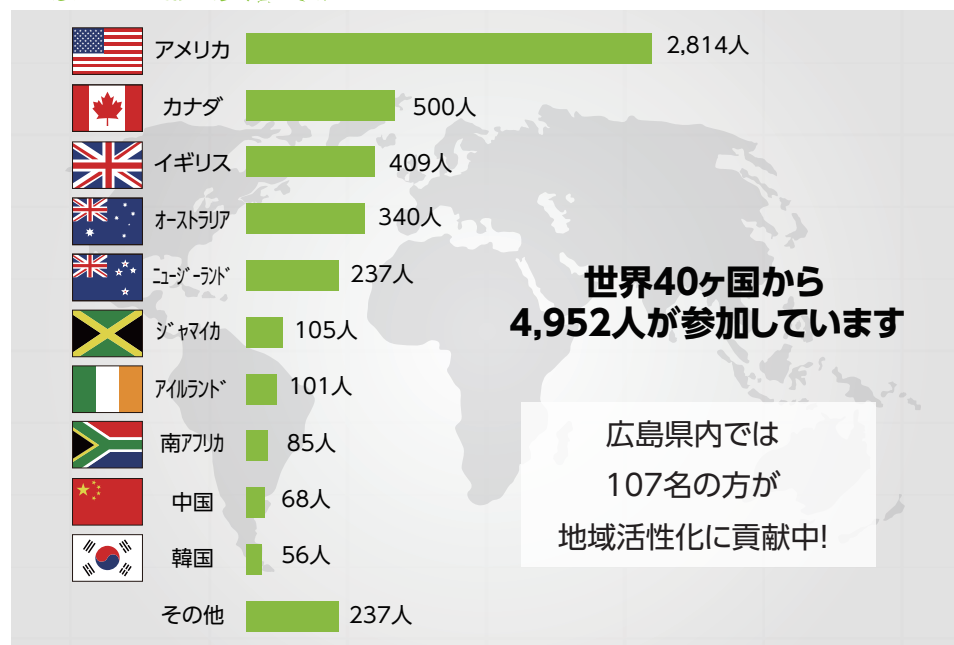


CIR 国際交流員 Coordinator for International Relations
＜主に地方自治体に配属され、国際交流活動に従事します。＞



SEA スポーツ国際交流員 Sports Exchange Advisor
＜主に地方自治体に配属され、スポーツ指導等を行います。＞

【JET Programme国別参加者数】 ※2016年7月1日現在



広島には学校で語学指導を行うALTが103名、行政機関で交流事業等を行なっているCIRが4名います。どんな活動をして、広島をどのように感じているか聞いてみました。



Mark Walters (アメリカ出身)
Assistant Language Teacher

INTERVIEW 01 ALT

ー普段どのような仕事をしていますか？

ALTとして2年が経ち、ALTのリーダー（ALT PA）として週2回は県教育委員会で、そして週3日は呉昭和高校で英語教師をしています。今は、平成29年1月に開催されるALTメンバー向け研修のために講演やワークショップの準備を始めています。準備することがたくさんあります。学校では、幸いなことに素晴らしい校長先生、教頭先生、先生方に恵まれ、良い環境で仕事しています。

ー学校で働いていて日本とアメリカの違いを感じることはありますか？

そうですね。アメリカの高校は義務教育ですが、日本の高校は大学に行くためや、良い仕事に就くためなど、目的をもって通ってますね。それはプレッシャーの多い環境だと思います。教えている先生方も忙しそうです。それにアメリカ人は個人主義ですが、日本人は学級や家族などグループで物事を考えていると感じます。アメリカでは、失敗も成功もすべて自分次第と考えるところが、日本との大きな違いだと思います。

ー最近、グローバル教育と聞きますね。グローバルとは何だと思えますか？

それぞれの地域の文化・宗教・考え方をお互いが尊重し合うことだと思います。私はJETプログラムの英語教師ですが、ただ単に英語を教えに来ているだけではありません。私を通じて日本の生徒たちに世界との繋がりを感

じて欲しいですし、文化を感じてほしいです。

ー広島のとどこが好きですか？

日本人の親切な人柄が好きです。そして日本の食文化は素晴らしいですね。お好み焼きも美味しいです。

広島は私の故郷と街の規模が似ていて、道で知り合いにばったり会えるような街です。それに、広島は戦後の復興の中で築かれた前向きな気持ちとお互いを気遣うことのできる県民性を感じます。広島が世界に発信する平和のメッセージは本当に素晴らしいと思います。あと、カープも好きです。私の故郷の街には大学のフットボールチームがあり、試合の時にはスタジアムに9,000人もの観客が押し寄せます。カープファンと同じようにスポーツは、町中の人を一つにまとめる力があります。私の故郷と広島はとても似ています。

※インタビューは英語で回答して頂きました。記事は日本語に編集しております。

INTERVIEW 02 CIR

Daniel Mackey (カナダ出身)
Jung Arum (韓国出身)
Coordinator for International Relations

ーお二人の仕事を教えてください。

アルム（以下ア）：広島県庁で働いていて、週に一度、ひろしま国際センターで通訳相談員をしています。県庁では翻訳・通訳や学校における韓国理解講座等を担当していて、その他にも国際交流イベントの手伝いをしています。また、広島県の国際交流員が運営するFacebook「きっともっと楽しい広島」で、広島の魅力伝える経験談や、国際交流イベント情報などを多言語で発信しています。

ーCIRのどんな仕事が好きですか？

ア：学校訪問して本の読み聞かせをしたり、文化講座で韓国について紹介したり、様々な仕事でCIRにはあるので、その場での人との交流が楽しいです。

ー日本語を勉強するきっかけは何でしたか？

ア：日本のアニメ、Jpop、ドラマを見たことがきっかけです。韓国で日本のケーブルテレビ番組があり、言葉が分からないのに、楽しく見ていました。

マッキー（以下マ）：私は大学で日本語の授業があって興味を持ちました。以前は村上春樹の本も読みました。

ーJETに参加して思ったことは？

マ：私は初めから活動の幅が広いCIR希望でした。カナダでは日本語を活かした仕事が少ないので、日本語を活かした仕事ができるので魅力的です。

ー日本で驚いたことはありますか？

マ：日本は残業が多いですね。カナダでは定時になったら帰ります。カナダは仕事が生活の邪魔にならないようにするけれど、日本は



生活が仕事の邪魔にならないようにしています。仕事にあわせてプライベートを変えていく習慣だと、家族がある人は大変だろうと思います。

ー広島で面白い発見はありましたか？

ア：みんなカープが大好きで、みんなで応援しながら飲んでいる。子供たちが赤い帽子をかぶって遊んでいますね。私もカープを応援しながら野球が好きになりました。それから、お好み焼き屋が本当にたくさんありますね。広島駅を出るとお好み焼きのにおいがして、「広島に来た〜」と実感しますね。（笑）

交流部



Report 1 平成28年度 奨学金決定通知書授与式・第1回奨学生交流会 を開催

外国人留学生に対する奨学金決定通知書授与式・第1回交流会が7月12日(火)、ホテルセンチュリー 21広島で開催されました。今年度は、企業等協力留学生奨学金48名、県民支援留学生奨学金2名、センター留学生奨学金3名、渡日等留学生支援に係る奨学金12名の計65名に奨学金が授与されました。授与式では、ご協力企業・団体から奨学生に決定通知書が手渡され、固い握手が交わされました。奨学生代表の挨拶で広島国際学院大学のダンティフェンさんは、「情熱をもって熱心に勉強を続けていきます」と感謝と決意を述べられました。また併せて、長年、奨学金事業のために支援いただいた8の企業・団体に感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。

続いて行われた交流会では、奨学生と企業・団体及び大学関係者が懇談し、奨学生、母国の紹介や将来の目標等について語り、改めて支援に対するお礼を伝えていました。



奨学金授与の様子



奨学生代表挨拶

ご寄附いただきました企業・団体様へ、心より御礼申し上げます

株式会社 あじかん
株式会社 アスティ
株式会社 いとや
株式会社 ウッドワン
賀茂鶴酒造株式会社
カルビー株式会社 広島工場
国際ソロブチミストウエストひろしま
国際ソロブチミスト広島
株式会社 第一学習社
株式会社 大創産業
一般財団法人 多山報恩会
株式会社 中国新聞社
中国電力株式会社
株式会社 中国放送

株式会社 中電工
中電プラント株式会社
株式会社 テレビ新広島
株式会社 東洋シート
南条装備工業株式会社
西川ゴム工業株式会社
広島ガス株式会社
株式会社 広島銀行
一般社団法人 広島県医師会
一般財団法人 広島国際文化財団
広島信用金庫
広島テレビ放送株式会社
広島電鉄株式会社
株式会社 広島東洋カープ

株式会社 広島ホームテレビ
株式会社 福屋
株式会社 プローパホールディングス
マツダ株式会社
株式会社 マツダE&T
マツダエース株式会社
マツダロジスティクス株式会社
三島食品株式会社
三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ
株式会社 もみじ銀行
株式会社 モルテン
株式会社 レニアス



25年連続協力

一般財団法人広島国際文化財団



20年連続協力

三島食品株式会社



15年連続協力

株式会社第一学習社

中電プラント株式会社

株式会社福屋

株式会社中国新聞社

広島電鉄株式会社



10年連続協力

南条装備工業株式会社

(敬称略 50音順)

交流部



Report 2 平成28年度上期 市町等の多文化共生に係る取組支援事業

平成25年度より市町等が実施する多文化共生に係る啓発活動の講師費用等を当センターが支援しております。今年度上期の実施状況をお知らせいたします。

実施日	地域	セミナー名
6/1・3	広島市	「やさしい日本語」の役割と実践
6/4・11・18	江田島市	日本語ボランティア基礎講座
6/13	安芸高田市	「やさしい日本語」に関する研修会
7/24・31	海田町	日本語ボランティア養成講座
8/19	大竹市	「やさしい日本語」講座

実施日	地域	セミナー名
8/21・9/11	福山市	日本語支援ボランティア講座
8/23	尾道市	日本語学習支援ボランティア研修会
9/10・17・24	呉市	日本語ボランティア養成講座
9/21・28	三原市	日本語学習ボランティア養成講座

Report 3 「平成28年度ひろしま国際交流サミット総会」を開催

7月5日(火),「平成28年度ひろしま国際交流サミット総会」を開催しました。

この「ひろしま国際交流サミット」は、多文化共生社会支援事業の一環として、広島県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図ることを目的として、平成元年(1898年)11月に結成し運営しているものです。(H28.3月末現在163団体加盟)

年1回開催する総会の中で講演会を実施しており、今回は、(一財)自治体国際化協会理事長の岡本保氏の特別講話「多文化共生の実現をめざして」に続き、テレビ等で活躍中の料理研究家コウケンテツ氏をお迎えし、ご講演いただきました。

コウケンテツ氏の講演は、「コウケンテツ流 異文化コミュニケーション ～食を通して人が、世界がつながる～」と題してお話いただきました。

コウ氏は、まず、幼少期を過ごされた大阪で、家族や隣近所の人たちで囲んだ食卓の話に始まり、現在、料理研究家としての指針となっているご両親の教え、「この世で一番大切なのは『ご飯をちゃんと食べる』こと」、ライフワークとして続けている『子どもの料理教室』等々をテンポよくお話しされ、その軽妙な語り口と笑顔に参加者はどんどん引き込まれていきました。

また近年、ホームステイ等でアジア各国をはじめとする20ヶ国以上の国を訪れられて会得されたコミュニケーション術について説明され、さらにその折に食べた現地の家庭料理に話がおよぶとますます話に熱が入り、予定の90分を超えて語ってくださいました。

聴講された皆様からは、「やさしく、わかりやすいお話しでとても楽しかったです」、「実体験を通じた説得力のあるお話しで、多くのヒントをいただきました」といったお声を多数いただきました。



コウケンテツ氏の話に、熱心に聞き入る参加者



(一財)自治体国際化協会 理事長 岡本保氏

Report 4 ひろしま国際交流サミット地域分科会助成金交付事業 「第41回三次きんさい祭 国際村」で地域のみなさんとふれあいました

7月30日(土), 41回目となる「三次きんさい祭」が開催され、「国際村」というステージを展開しました。毎年、ステージの企画進行はEGG(草の根国際交流会)がおこなっています。今回は特に、開催直前のリオデジャネイロオリンピックに向け、ブラジルの理解を深めるとともにオリンピックの機運を高めることを目的としました。(三次市関係から水泳200m平泳ぎ金メダル受賞の金藤理絵選手、パラリンピック自転車競技に川本翔太選手が出場)

三次市役所前に設けたステージでは、約180名の出演者が、インドネシア伝統舞踊と武術パンチャクシラト演武、フィリピン出身者のダンスや歌、日本の空手の演武、子どもたちのダンス、ゴスペル、トランペット演奏等を次々と披露しました。メインは、広島サンバ連合「ホーザ・ジ・ヒロシマ」に、サンバの演奏とダンスで会場を盛り上げていただきました。

ブラジル、インド、カナダ、アメリカ、中国、イタリア等、多数の外国人の方々も訪れ、地元の方との交流を深めました。

EGG(草の根国際交流会)代表 神岡



交流部

Report 5 「平成28年度多文化共生担当職員 第1回テーマ別研修会」を開催しました

7月13日(水)に多文化共生担当職員 第1回テーマ別研修会を開催しました。この研修会は、県内の各市町や市町国際交流協会で多文化共生の業務に従事されている職員や相談員の方を対象に実施している研修会です。

今回の研修は、「多文化共生社会における防災」をテーマとし、東日本大震災時に仙台で外国住民への支援取組をご経験された、仙台観光国際協会 菊池哲佳さんを講師としてお迎えいたしました。

第1部では、災害時の避難所を模擬体験し、避難所で生じる問題をイメージ化するロールプレイのワークショップをしていただきました。

第2部では、東日本大震災時の仙台での取組事例を紹介して頂き、災害時の自治体や国際交流協会の連携と役割について学びました。

第3部では、東日本大震災での事例やワークショップを元に、広島で実現可能な多文化共生の取組について、グループで検討しました。

参加者からは、「災害に対する危機感が薄い」「防災を考えると、外国人市民のことを考えていない」「地域住民と外国人の接点がない」「言葉の壁がある」などの課題や「日頃から外国人市民の方々とのコミュニケーションが大切だ」と意見があり、日頃から防災の備えや外国人との関わりに取り組む必要がある事を振り返り、今後の取り組みを検討する機会となりました。



留学生活躍支援センター

Report 6 留学生合同企業説明会

9月16日(金)、広島国際会議場において「留学生合同企業説明会」を開催しました。当日は47社の企業ブースに、県内及び近隣県から広島で就職を希望する180名余りの留學生が参加し、会場は熱気にあふれました。それぞれが希望する企業ブースで担当者の方の説明に熱心に耳を傾けていました。また、初めての試みとして「留學生OB・OG交流会」を同日開催しました。県内企業に勤める元留學生と留學生たちが、日本語だけでなく母国語も混じえながらのフリーディスカッションを通じ、就職活動や日本企業での働き方について情報交換を行い、理解を深めました。

今年度は、11月に広島大学、1月に福山大学、そして3月には広島市留學生会館と、留學生の定着・就職支援のための「業界研究や企業説明会、留學生OB・OG交流会」等の事業を、引き続き開催する予定です。



Report 7 「留学生活用セミナー」を開催します。

10月27日(木)、外国人留学生の採用・定着の促進を図る「平成28年度第2回留学生活用セミナー」を開催します。第1部の基調講演では、高度外国人材の採用と育成について、また実際に留学生(高度人材)を雇用する際の在留資格に関する実務的な知識を深めます。第2部では、事例研究として、株式会社 西部技研(福岡県)の隈社長と社員の曹氏(元留学生)をお招きし、具体的なお話を伺います。同社は平成26年度「ダイバーシティ経営企業100選」(経産省)に選出されるなど、留学生を積極的に採用し活気ある職場を実現しています。「留学生が活躍できる企業とは？」他県の先進的事例を学びます。

詳細はこちらから→<https://goo.gl/lxCILb>

【内容】第1部 13:30~14:35

〈基調講演Ⅰ〉『高度外国人材の活用に向けた採用と育成について』

一般財団法人 アジア太平洋研究所 主任研究員 山下 かおり 氏

〈基調講演Ⅱ〉『留学生(高度人材)と在留資格について』

ジェトロ「新輸出大国コンソーシアム」エキスパート 小口 隆夫 氏

第2部 15:25~16:40

〈事例研究〉外国人留学生採用事業の事例

『企業のダイバーシティの可能性と課題』

株式会社 西部技研 代表取締役社長 隈 扶三郎 氏

〈留学生OBとの質疑応答〉株式会社 西部技研 海外営業部 曹 蓉蓉 氏

〈まとめ〉意見交換・質疑応答



Report 8 「ジョブフェア・オンキャンパス」を開催します！

広島県の大学のキャンパスで、企業と留学生が交流するジョブフェア・オンキャンパスを下記のとおり開催する予定です。留学生向けの就職セミナー、留学生、企業や大学の関係者を対象としたグローバル人材活用セミナー、留学生×企業の交流サロン、留学生×留学生OB・OG(県内企業で働く元留学生)の交流会、そして、留学生と企業の人事採用関係者が出会える業界・企業説明会など、内容盛りだくさんの企画です。日本での就職を考えている留学生、留学生の採用を検討している企業にとって、貴重な出会いの場となるイベントです。詳細は、これからホームページなどでお知らせしていきます。

	東広島会場	福山会場
開催日	2016年11月30日(水)	2017年1月20日(金)
時間	10:30~16:30	10:30~16:30
会場	広島大学(東広島キャンパス)	福山大学宮地茂記念館

留学生活躍
支援センター
HP



留学生活躍
支援センター
Facebook



昨年度の様子

研修部 (ひろしま国際プラザ)

Report 9 在外広島県人会、グアナファト州の青少年17名が広島滞在を満喫しました

7月31日(日)から8月9日(火)の10日間、米国のハワイ、カリフォルニア、シアトルの広島県人会※1から14名、メキシコのグアナファト州※2から3名の青少年(他に引率者5名)を招き、広島を知り、県民と触れ合う国際交流プログラムを、研修部が広島県から受託し実施しました。

連日の猛暑にも関わらず、メンバーは、県立広島高等学校への訪問、神楽鑑賞、お好み焼きの調理体験、宮島見学などを通じ、広島への理解を深め、滞在を大いに満喫していました。8月6日の広島平和式典参列は、メンバーにとって、平和な世界の実現について考える貴重な機会となったようです。

湯崎広島県知事を表敬訪問した際には、メンバー全員が、知事から母国と広島の友好交流を推進する「広島県ユース親善大使」に任命されました。メンバーには、母国と広島の架け橋として今後の活躍が期待されています。

※1広島県人会：主に明治時代から1970年頃までの海外移住者(いわゆる日系人)の親睦団体。広島県の海外移住者数は約10万人と全国一で、広島県はハワイ・北米・中南米9か国の28団体と交流しています。

※2グアナファト州：県内企業の進出が進むメキシコ合衆国のグアナファト州と広島県は、2014年に友好提携を締結し、様々な交流を深めています。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

Report 10 呉市役所が「コミュニケーションサポーター」育成研修を8回にわけて実施

呉市では、市役所を訪れる障害者や外国人、高齢者や子どもなど、さまざまな背景を持ちながら暮らしているすべての人に、よりわかりやすい対応が可能な「コミュニケーションの達人」の育成を目指し、今年度から新たに市役所の職員を対象とした育成研修が実施されています。

呉市人事課では当初、語学研修を想定していました。しかし、外国人の実情を知る中で、外国人、障害を持つ方、お年寄りから子どもにもわかりやすく話すことができる「やさしい日本語」がテーマとして最適であると考え直したそうです。また、「やさしい日本語」が生まれた経緯を知ること、日本で暮らす外国人の生活面での不自由さをより深く理解することができると期待されています。



◆研修概要

- ・期間 2016年6月30日～2017年1月13日 計8回
- ・内容 コース設計に研修部の日本語講師が関与し、外国人ゲストを招いた母語での対応や「やさしい日本語」の基礎から応用、ワークショップでは外国人市民との直接対話、避難体験、自治体の国際化政策ほかを実施
- ・講師 広島国際学院大学講師、ひろしま国際センター日本語常勤講師等が担当

Hello Hiroshima

Vol.94 October 2016



The New CIR in Town

Daniel Mackey

Hello Hiroshima, my name is Daniel Mackey and I will be taking over the role of writer for the Hello Hiroshima article from my illustrious predecessor, Trevor Swan. I am Canadian, born in Quebec City but raised mostly in the City of Montreal. You may have heard that the Province of Quebec is mainly French, which is true, but I am one of the rare English speakers to be born and raised there.

I studied Japanese for a total of three years in Montreal and then one year in Fukuoka, after which I spent about four unforgettable years living and working in Kagoshima City. When I was told this summer that I would be sent to work for Hiroshima Prefecture as a CIR (Coordinator for International Relations), I felt both anxious and excited by the prospect of going somewhere that I knew nothing about. Actually, I had visited Hiroshima City once before for a short half-day excursion to the peace park, but that was the extent of my travels in the Chugoku region.

When I first asked my Japanese friends if they knew anything about Hiroshima, the only things that came to mind were the Genbaku Dome, Hiroshima-Yaki, and something about a strong local dialect. Now that I have been here for several weeks, I can certainly see what they meant about the strong local dialect. While I can barely understand the Hiroshima dialect

at this point, I am sure that with time I will come to learn and love it as one of the colorful aspects of daily life in Hiroshima.

My hometown of Montreal shares some similarities with Hiroshima. Both cities are medium-sized and located next to water. They also feature a lot of green space. Coincidentally, Montreal and Hiroshima have a sister city relationship. That being said, I was very much unprepared for just how hot Hiroshima gets in the summer months. I will never forget my first day arriving in Hiroshima City when, after having just left the City Hall building, I was struck with a sudden nosebleed as the sun hit my face. These are the kinds of memories that make for good stories after the fact.

Besides discovering all the wonderful things that Hiroshima has to offer in terms of scenic locations and food, I also look forward to learning about Hiroshima's role as a city that promotes peace. It really is hard to imagine that this vibrant city was once the victim of an atomic bomb. I am sure the story of its recovery is a fascinating one that I will undoubtedly learn about over the next year.

I am grateful for the opportunity to be here, and will try to make this year a great one!

世界の仕事を知るセミナー 「国際関係の仕事のやりがいって?」

4回
シリーズ

県内の中・高生や大学生を対象に、海外の仕事経験がある講師が国際関係の仕事を紹介し、国際舞台で活躍する人材育成支援の一助として、セミナーを開催します。

後援/広島県・広島県教育委員会

第1回

10月15日(土) 14:00~16:00

「ぶっちゃけこんな仕事を
していました」

講師

上田 愛氏(元青年海外協力隊)
森川 幸恵氏(元客室乗務員)
中本 朋子氏(元ディズニーワールド勤務)

第2回

10月29日(土) 14:00~16:00

「緊急人道支援と
外務省の仕事」

講師

原田 優氏
(外務省国際協力局 緊急人道支援課
国際緊急援助官)

第3回

11月19日(土) 14:00~16:00

「看護師による
国際協力の仕事」

講師

工藤 芙美子氏
(NGOシェア保健アドバイザー、看護師、
元JICA専門家)

第4回

12月3日(土) 14:00~16:00

「国連で働くとは」

講師

隈元 美穂子氏
(国連訓練調査研究所(ユニタール)
広島事務所所長)

会場:(公財)ひろしま国際センター交流ホール 主催:(公財)ひろしま国際センター

申し込み方法:1. オンラインフォームによる申し込み<https://goo.gl/KDmbZk>

2. メールによる申し込み ①お名前、②参加日、③学校名と学年(所属先)をご記入の上、下記メールアドレスに
お申し込みください。 hic08@hiroshima-ic.or.jp(担当:広本) ※申込締切日は開催日の2日前まで



広島から世界へ！

僕たちにできることは必ずある！

10月上旬より、広島県出身のJICAボランティア4名が
スリランカ、ウズベキスタン、パヌアツなど4カ国へ向けて出発します！



■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	15	30	45
シニア海外ボランティア	6	2	8
日系社会青年ボランティア	0	2	2
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成28年6月30日時点

JICAボランティア <青年海外協力隊とは?>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!?
40歳~69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。



帰国隊員レポート

~ナミビア篇~

藤原 周平さん



ナミビア共和国

アフリカ南部に位置する共和制国家。北にアンゴラ、北東にザンビア、東にボツワナ、南に南アフリカ共和国と国境を接し、西は大西洋に面する。

【概要】面積: 82,4万km² (日本の約2.2倍)

人口: 約240万3,000人 (2014年 世銀)

首都: ウィントフック

公用語: 英語

(その他アフリカンス語、独語、その他部族語など)

宗教: キリスト教、伝統宗教

現地での活動内容

ザンビアとの国境沿いの街にある中高一貫校にて、教師・生徒のコンピュータ操作全般に関するサポートや生徒へのコンピュータ科目の指導、コンピュータラボの管理等を行いました。最初はコンピュータの実用的な使用方法の指導をしよう!と意気込んでいましたが、マウスやキーボード等の周辺機器が多く不足していたため、活動環境を整備することから開始。改修工事で教室が使用できなくなるなど想定外の事態の連続で思い通りに活動を進めることは難しかったですが、生徒への学習指導、学校内コンピュータの健全な使用及び教師への指導など、できることから行っていました。創意工夫や自発的な活動が要求される環境に身を置くことができて本当に良かったと感じています。

ナミビアってこんなところ！

ナミビアは日本の約2.2倍の面積であるにもかかわらず、人口は広島県より少ないという非常に広々とした国です。乾季と雨季がありますが基本的には乾燥していて過ごしやすく、これらは実際に住んで感じた大きな魅力でした。また、世界最古の砂漠であるナミブ砂漠、世界第2位の規模の渓谷であるフィッシュリバーキャニオンなど大自然豊かな国で、多くの観光客が訪れます。日本人にはまだまだ馴染みのない国だと思えますが、一度訪れることをお勧めします！

ナミビアの子どもの印象！

活動していた学校の中学2~3年生くらいの子供もたちについては、とても目立ちたがり屋でした。日々の授業では、どんな質問に対しても積極的に、当たり外れ関係なく手を挙げ答えようとする生徒が多く、このような積極性は見習うべきところだなと感じました。一方で集中力が低く、何かに没頭するのが苦手なように感じることもあったので、出来るだけ楽しい授業を行うよう心がけていました。



▲住んでいた町の風景



▲授業中、質問には
いっぱい手が挙がる！



▲休日のパソコン補習授業の様子



▲外で授業すること！

ふじから しゅうへい 藤原 周平さん プロフィール

- ・広島市出身
- ・大学卒業後、システムエンジニアとしてコンビニエンスストアのシステム構築に従事。仕事を通して培ったコンピュータに関する知識や実践的スキルを活かして、2014年6月より青年海外協力隊(PCインストラクター)としてナミビアにて活動。現在は、アジア経済研究所開発スクールに所属し、国際開発援助に必要な専門的知識を学術的視点から学んでいる。

参加のきっかけ

幼少期を広島市で過ごしたこともあり、世界の平和や発展について関心を持つ機会も多く、実際どうなっているのか肌で感じてみたいという気持ちが強かったです。ちょうど専門的な職業知識も身についた時期だったので、青年海外協力隊として何か貢献できるのではないかと思います、応募しました。

参加して思うこと

充実した2年間を過ごすことができました。将来、具体的に取り組みたいことも発見することができ、この経験に感謝しています。大きく異なる文化の中に身を置いて良かったと思うことは、日本の慣習の良いところと悪いところ、活動先文化の良いところと悪いところが、それぞれの視点で浮き彫りになって見えてくることだと思います。だから、様々なことに対して考える視野が広がり、自分がどうありたいのかを改めて考える良い機会になりました。素晴らしい経験だと思うので、興味のある方は是非参加してみてください。

2016年度秋募集 JICA ボランティア体験談&説明会 開催中!!

JICA ボランティア 募集受付期間 9/30(金) >>> 11/4(金)*必着

青年海外協力隊やシニア海外ボランティアにあなたも参加してみませんか?

参加を迷っている方や、いつかは参加してみたいなあ...でもいろいろ不安だし...と思っている方大歓迎!
JICA ボランティアとして活動していた方による活動体験談や個別相談も行いますので、ぜひお気軽にご参加ください!

広島県での開催日程はこちら

- ・9/28(水)、10/16(日) 広島市
- ・10/12(水) 福山市
- ・10/20(木) 東広島市*

(*青年海外協力隊のみ)

詳細は「JICAボランティア」で検索！

左記日程以外でも、直接話を聞いてみたい!という方大歓迎。

下記、広島県JICAデスクまでお気軽にお問い合わせください。

●広島県のイベント情報発信☆

広島JICAデスクfacebookはこちら→





Event News



広島県ユニセフ協会10周年記念事業
「ユニセフのついで ラブ・ウォークin宮島」
 ～清水正弘さん(健康ツーリズム研究所代表・
 国際山岳ガイド)と世界遺産・宮島を歩こう!～

ユニセフ・ラブウォークは歩くことで“健康づくり”をするとともに、参加費を開発途上国の子どものために役立てようという楽しいイベントです。午後からはオプションプログラムがあります。(清水さんと弥山に登ります。希望者のみ。ロープウェイなどの費用が別途必要です。)

日10月22日(土)

時10:30～12:00

集合:10:15@宮島棧橋前広場

場宮島

定50名

費18歳以上 300円

(ユニセフ募金として、世界の子どものために使われます)

問広島県ユニセフ協会

担当者 高田 和美

TEL:082-231-8855

unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

第8回世界食料デー広島大会 ナイトdeライトAcoustic LIVE

日本国際飢餓対策機構親善大使「ナイトdeライト」チャリティライブ。募金先活動報告(日本国際飢餓対策機構スタッフより)

<募金支援先>子ども教育支援・自立開発支援・農業、コミュニティ支援としてバングラディッシュ・ボリビア・コンゴ・フィリピン・ルワンダ・ケニア

日10月30日(日)

時開場14:30 開演15:00

場広島YMCA国際文化ホール

定285名

費入場整理券2,000円

問チケット販売 CLC広島店

担当者 石内

大会主旨 (082) 546-9036

チケット販売 (082) 248-4254

豪日に架ける「愛の鉄道」上映会 (英語字幕付き)

70数年前の戦争でオーストラリア国民の反日感情は高まっていた。20歳代のグリーン神父は「死と憎しみを乗り越えて和解しよう」と、終戦後の日本をベースに日豪間を奔走します。グリーン神父の生涯を通して日豪の

歴史の真実を学び、平和の尊さを実感できる映画です。ぜひ鑑賞ください。

日11月12日(土)

時14:00～15:30

場ひろしま国際センター ホール

費無料

問広島日豪協会 事務局

担当者 笠間

TEL:256-2200

nichigo@tss-tv.co.jp

災害時多言語支援研修会

災害時の多言語支援センター立ち上げ運営と外国人による避難所体験をおこないます。そこで幅広く外国人避難者を経験してくれる外国人を募集します。参加希望、お問い合わせはeメールにてお願いします。

日11月20日(日)

時10:00～15:00

場安芸高田市民文化センター

小ホール

定50名

費無料

問NPO法人安芸高田市国際交流協会

担当者 明木 一悦

npoatie2013@gmail.com

国際交流・協力の日2016

「国際交流・協力の日」は、主に広島市内で国際交流・協力活動を行っている市民団体・企業などが中心となって平成12年度から毎年開催しているイベントで、今年で17回目の開催です。

様々な国際交流・協力に関する事

業を行い、来場者の皆様に楽しみながら外国文化に触れていただきたいと思います。子どもから大人まで楽しめる内容になっていますので、ご家族でお気軽にご参加ください。

日11月20日(日)

時10:00～16:00

場広島国際会議場

費無料

問(公財)広島平和文化センター

国際部国際交流・協力課

担当者 荻野

TEL:082-242-8879

E-mail:internat@pcf.city.hiroshima.jp

第38回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

「手に手をとって」を意味する「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金は1979年の国際児童年に始まり、今では誰もが気軽に参加できる国際協力として広く知られており、毎年多くの皆さんが参加する街頭募金活動です。寒い中ですが、世界の子どものために、一緒に参加してみませんか?

日12月3日(土)

時15:00～16:00

場紙屋町、八丁堀など市内3～4カ所
 (詳しい場所は各参加者に連絡します。)

定なし

費なし

問広島県ユニセフ協会

担当者 高田 和美

TEL:082-231-8855

unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

ワンペア \募集中! 日本語学習ボランティア

広島在住の外国人の方と、一対一(ワンペア)で日本語と一緒に勉強するお手伝いをしませんか?
資格・経験は問いません。日本語学習ボランティアを通じて、国際交流や国際理解が深まります。

■活動場所 ひろしま国際センター

■募集対象 外国人の方と日本語勉強を手伝ってみたい方、国際交流に興味のある方、ボランティアに興味のある方。年齢18歳以上。資格・経験は問いません。(申込み時に語学力等ご相談いただけます)

■申込方法 登録希望の方は、来館いただくか、登録用紙を郵送・FAX、またはメールでお申し込みください。

■登録後の流れ 登録後は当センターにてご希望条件(※)に合った方とマッチングいたします。※希望条件は、学習曜日や時間帯、学習頻度、学習レベル等です。



「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

ひろしま国際プラザで成長した私

カクカイ
閻貝さん(中国)

みなさん、こんにちは。私は中国からの留学生、閻貝と申します。今は広島大学社会科学部で計量経済を勉強しています。去年の3月に『グローバルリレーションズ・プログラム』(GRP)の入居者の面接を受けて、幸いにこのプログラムの一員となりました。

まず、ひろしま国際プラザでの生活は住みやすいです。様々な国から集まってきたGRP参加者たちは本当にファミリーのような爽やかな雰囲気の中で過ごしています。いつもみなさんの元気な笑顔で癒やされています。月一回に行われるミーティングに、みんなは生活上に困ったことを担当者と相談することもできます。特に、いつもGRP同士はパーティを行い、多国籍料理を味わいながらコミュニケーションが盛り上がっています。みんなとの出会いは非常に良かったと思います。

そしてひろしま国際プラザの職員さんたちはい

つも私たちの後ろに支えているため、日本での留学生活に安心感があります。昨年11月に、ひろしま国際プラザ中国語カフェが開講され、私は中国語を教える先生になりました。開講前に不安を解消するために、このプログラムの担当者から何回も授業の流れについてアドバイスをいただき、広島市内の中国語講座の見学にも連れてもらって行ってきました。

ひろしま国際プラザの日本語講師の先生たちにも大変お世話になっております。日本語高等研修でプレゼンテーションのやり方と論文の書き方を教えていただくことは研究活動にとっても役に立ちます。

ひろしま国際プラザのみなさんのおかげで、GRP参加者として自分自身はこの1年間ぐらいいつも成長したと思っています。



グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)とは？

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。8月末現在、6ヶ国15人の留学生が参加しています。そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料

1泊 770円 管理費 2,500円/月
月額 24,060円～26,370円(水道光熱費込み)

賛助会員を募集しています！

HICでは幅広く市民の皆さんに協会の事業についてご理解、ご支援いただくために賛助会員制度を設けています。賛助会員の皆さんには、協会機関誌など国際交流情報やイベントのご案内をお送りさせていただきます。この制度を通して言葉や習慣の違いを乗り越え、心を通い合わせることでできる豊かなまちづくりに一緒に参加しませんか？

皆さまからご支援いただく賛助会費(※)は国際交流事業、国際理解教育事業、多文化共生事業に使わせていただいております。

■入会資格 協会の趣旨に賛同していただける個人、法人・団体

■年会費 個人一口 2,000円(一口以上)
法人・団体一口 10,000円(一口以上)

※当協会に対する賛助会費については税法上の優遇措置があります。

編集担当より

今回の表紙写真は、今年8月に来広したJETプログラム参加者の皆さんです。これから県内学校や施設で仕事をスタートするにあたり、当センター研修部にて日本語や日本文化について研修を受けられています。その連日の研修で疲れているにもかかわらず撮影時にはこの笑顔で応えてくれました。これからの広島生活が充実するよう応援しています。



交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F

TEL. (082) 541-3777 FAX. (082) 243-2001

E-mail / hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00

日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL. (082) 421-5900 FAX. (082) 421-5751

E-mail / hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室)

月～土 10:30～19:00※

日・祝日および年末年始はお休みです。

※情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。

